

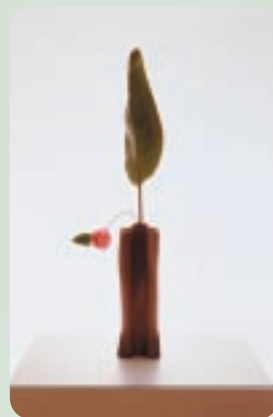
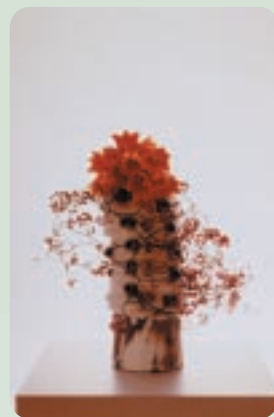
GARDENING NEW TREND
私のガーデニング・マインド

実もので愉しむ、円熟の庭づくり



華道家 假屋崎 省吾 氏

1958年、東京生まれ。早稲田大学在学中に草月流に入門。草月流家元勅使河原宏氏の傍らで、いけばなにとどまらず空間を創ることの面白さを学んだ。美輪明宏氏より「美をつむぎだす人」と評され、今最も注目されている華道家であり、スペースクリエーター。クリントン米大統領来日時や天皇陛下御在位10周年記念の花のプロデューサーなどでも、内外のVIPから高い評価を得る。「新・男の食彩」課外授業 ようこそ先輩（NHK）「たけしの誰でもピカソ」（テレビ東京）など多数のテレビ出演、ラジオ、雑誌、新聞など幅広い分野で活躍中。受賞、著書多数。SU-TADIO LEAF主宰。草月流師範会理事等役職多数。11月1日（木）～11月11日（日）まで、目黒雅叙園の国の有形登録文化財である「百段階段」及び特別展示会場で「昭和の電宮城と花の競演 假屋崎省吾の世界」展を開催。



実りの秋はやはり、実もので庭づくりを愉しんでいただきたいですね。植物が春に芽生え、夏に栄養分をたっぷり吸収し、秋に色がつき実がなる。その実が落ちて次なる生命が宿る。四季の移ろいのなかで、実ものは春の息吹から秋の熟成した深みまで、その豊かな味わいを愉しむことができます。実ものが庭のある暮らしを豊かにしてくれるのは、まず花が咲いたり実がなっているのを見て愉しむ。次に、その実を食べて愉しむ。さらにいけばなにして愉しむ、という3度の愉しみを味わえるからではないでしょうか。実ものには、立つものからむもの、つまり柿や林檎、桃、梅などのようにそのまま木になるものと、葡萄や胡瓜などのように蔓性のものがあります。アケビ

などの蔓性のものは実と蔓が独特の美しい曲線を描きますので、まさに見てよし、食べてよし、飾ってよしという、庭づくりの面からいけばなの面からも愉しめる好素材です。たとえばザクロなら野趣豊かな味を食べて愉しんだ後、いけばなとし、さらにドライフラワーとして愛でるのも素敵です。私はいけばなアートを創作するとき、テーマから入ったり材料から入ったりの両方ですが、秋の実ものは色に深みがあり熟成の感じを表現できる格好の材料です。トマトなど夏の野菜もので原色豊かな生命感あふれる生き活きとした庭づくりを愉しんだ後は、秋の実もので心穏やかな微妙な色合いの円熟した庭づくりを愉しまれてはいかがでしょうか。



エクステリア専用CADシステム
スーパー御庭番

Super Oniwaban

クオリティの高さはもちろんですが
「操作が簡単・スピーディ」と大好評です

CADシステムは、リアルでビジュアルなプレゼンテーションで、施主様の信頼と満足度を高め、お仕事をスムーズに運ぶための業務支援ツールです。

CADシステムを選ぶ上で最も大切なポイントは、“プランナーの方々の創意と感性を存分に表現でき、施主様のご期待にスピーディにお応えできる操作性のよさ”と言えるでしょう。...エクステリア専用CADシステム「スーパー御庭番」が選ばれるのは、ソフトの充実とそのシンプルな操作性にあります。

作図システムは入力が簡単

- 平面図・立面図・パースが完全連動!
- 変更も簡単スピーディ
- 斜面の角度も自動計算



3Dカラーシステムは自動作成

- 作図データに登録されたカラー素材を設定すればリアルな3次元CGが即完成
- 柔らかいイメージへの変更もOK



画像処理ソフトで
柔らかいイメージに簡単変更



充実のプレゼンボードシステム

- 商品の画像をCD-ROMから自動読み込みでき、植栽など、カタログからスキャンした画像も使用できる

